

基本方針	目標	事業名	令和7年度の評価等
1 利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を目指す	①拠点間及び地域間を移動しやすい地域公共交通ネットワークの形成	事業1 ：路線バスサービスの維持及び利用促進	・路線バスサービスの維持及び利用促進について、路線バス事業者の協力により、小学校交通教室や市民の日において児童を対象とした乗車体験、年1回の事業所見学会を実施した。これにより、路線バスへの興味関心を深め、利用促進につながった。 また、年に複数回、路線バス事業者との協議・調整を行い、路線維持に努めてきた。しかし、2024年問題により全国的にバス運転士の労働力不足が深刻化しており、市内営業所においても例外ではないことから、次年度以降も公共交通の利用促進に向けた周知等を行いつつ、持続可能な路線維持を図りたい。
		事業2 ：乗合タクシーサービスの維持及び利用促進	・乗合タクシーの運行支援について、交通不便地域の解消を担う支線路線は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の活用や、事業収入により賄えていない運行経費に対しては、不足する費用の2／3を補助し、路線を維持した。 ・乗合タクシーの運行方法や運行経路の検証について、対象自治会に対し利用実態把握を目的とした大規模なアンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握した。 ・乗合タクシーサービス維持及び利用促進について、自治会回覧、市HP、庁内施設等での周知を行い、利用促進を図った。
		事業3 ：タクシーサービスの維持及び利用促進	・タクシーサービスの維持及び利用促進について、福祉タクシー利用券や妊産婦タクシー利用を助成し、路線バスなど公共交通の利用困難な方の移動環境の向上を図った。 【実績】 ・妊産婦タクシー 助成件数 36件 助成額 225,230円 ・福祉タクシー 交付者数 1,718人 助成額 22,617,000円
		事業4 ：運転手確保の取組	・運転手確保の取組について、地域公共交通の周知に繋がるイベントとして、TOKAIグローバルフェスタにて運行事業者と協力したバス運転士体験の実施のほか、県央やまなみ協議会（秦野市、厚木市、伊勢原市、愛川町、清川村）において、各運行事業者の従業員募集等に係る啓発を各市合同で行った。
		事業5 ：地域の支え合いによる移動支援	・認定ドライバー養成研修について、地域支え合い活動として移送を行おうとするボランティア団体の立ち上げ及び福祉有償運送の移送ドライバーとして活躍できる人材の育成を目指し、市HP等を活用して周知を図った。 また、地域支え合い型認定ドライバー養成研修を2回開催し、地域移動サービスを担うドライバーの養成に努めた。 【実績】 ・開催日：令和7年7月2日（水）、11月18日（火） ・合計参加者：35人
		事業6 ：次世代交通を活用した新たな交通サービス	・新たな交通サービスの検討について、近隣市にて行われている自動運転バス実証実験の視察や、様々なシステム事業者とのヒアリング等を行い、次世代交通の可能性を検討した。 また、国土交通省が事務局を務める「交通空白」解消・官民プラットフォームへも参画し、積極的な情報収集に努めた。

基本方針	目標	事業名	令和7年度の評価等
1 利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を目指す	②市外への移動を支援するアクセス強化	事業7 ：小田急線の利便性向上と利用促進	・鉄道事業者への要望活動の実施について、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて実施した。このことにより、特急電車の停車本数の増加が実現され、利便性の向上に繋がった。 【特急電車の秦野駅停車本数】 令和5年度 平日：46便、土休日：39便 令和6年度 平日：47便、土休日：43便 令和7年度 平日：47便、土休日：46便 ・車両や駅舎を利用したイベントの実施について、昨年11月に秦野駅にて民間実行委員会主催のもと丹沢日和フェスティバルが開催され、駅舎内自由通路や駅前広場等のにぎわい促進を図った。 - また、駅の魅力向上および利用促進を目的として、秦野市制施行70周年を記念に、秦野駅の列車接近メロディーに同市にゆかりのあるロックバンド「LUNA SEA」の楽曲を採用した。これにより、駅の話題性向上や来訪者の増加を通じて、にぎわいの創出と沿線の魅力向上に寄与した。
		事業8 ：東名高速道路で運行中の高速バスの利用促進	・高速バスサービスの周知について、市HPや広報はだの等を通じて利用促進を図った。 ・高速バス利用者の便利施設の維持及び検討について、高速バス利用者用の駐車場を維持管理し、また、駐車場から停留所までの行き方を示した動画を市公式YouTubeに掲載したことで利便性向上を図った。
		事業9 ：新東名高速道路秦野丹沢SAへの新たな高速バス停留所の新設	・高速バス停留所の新設について、秦野丹沢SA発着候補となる運行事業者とのヒアリングや国等関係機関と協議を行い、高速バス停留所開設に向けた検討を行った。
		事業10 ：観光地を巡る周遊交通の検討	・季節運行バスや観光タクシーの運行検討について、市内の桜スポットを巡るため、市内タクシー事業者と協力してお花見タクシー事業を実施した。 【実績】 ・お花見タクシー 3月7日（土）～4月19日（日） 利用者数：42人
2 利用しやすい環境整備による利便性向上を目指す	③利用しやすい地域公共交通環境の整備	事業11 ：交通結節点の機能強化及び待合環境の改善	・令和6年度に整備した東海大学前駅南口駅前広場のバスベイにおいて、バス待ち利用者の整列状況が一定でなかったため、整列位置を示す案内テープを設置し、利用環境の改善を図った。
		事業12 ：人にやさしい車両（バス・タクシー）の導入促進	・ノンステップバス等の導入促進について、4台分（1台あたり上限140万円）の支援を行い、交通事業者の負担軽減に寄与した。
		事業13 ：高齢者等の移動支援	・交通不便地域等の買い物、通院などを支援する移動支援ボランティアの養成・支援や、ノンステップバスの導入補助により高齢者等の外出機会の支援を図った。
		事業14 ：公共交通・観光情報の発信	・バスロケーションシステム等利便性向上サービスの周知について、市HPで周知し、利用促進を図った。
3 多様な主体との連携による持続可能な地域公共交通を目指す	④環境に配慮し協働により支える地域公共交通の構築	事業15 ：環境に配慮した交通の推進	・「はだの交通スリム化促進事業」の実施について、事業者自主参加型エコ通勤デーや、交通スリム化キャンペーンを通じて、環境問題を提起し、地域公共交通の利用促進を図った。 - また、エコ通勤など他の模範となる優れた交通環境対策に取り組む事業者2社に対し、秦野市・交通スリム化協力事業所表彰を行った。
		事業16 ：商業施設等との連携	・利用促進サービスとの連携について、商店会等が取り組むキャンペーンに合わせ利用促進を図った。